

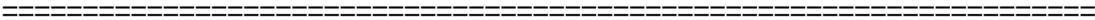


岡山大学法学部だより



※ 本メールは登録された方にのみお送りしています

第3号(2010年5月7日発行)
発行：岡山大学法学部 学部長室



ゴールデンウィークも終わり、新緑の鮮やかな季節を迎えました。今回は、新緑に負けずフレッシュな新任教員の紹介から始めたいと思います。また、フランス留学中の教員によるコラムも掲載を開始します。

目次

- 法学部教員紹介
- パリ便り ～ソルボンヌからの風～ (第1回)
- 法学部からのお知らせ
- 最近の話題

○ 法学部教員紹介

李 禎之(り よしゆき) 准教授

こんにちは。この4月から赴任した新任教員の李です。

私は在日韓国人3世として兵庫県で生まれ育ちました。現在は帰化しているため、戸籍名は「岩本」なのですが、大学では旧姓として「李」を使用させていただいてます。「李」と名乗ってはいますが、韓国語は韓流ドラマを観て勉強するおばちゃんレベルです。。。

大学入学から10年ちょっとを神戸で、その後5年間を長崎で暮らしてきました。「坂（だらけ!）の街」である神戸と長崎に住んでいたのも、岡山での自転車生活をととても新鮮に感じています。自転車に乗ること自体がオランダ留学時以来なので、まだビビりながらですが、休日には妻と一緒に遠出もしてみようと思っているところです。

私の専門分野は国際法で、とりわけ、国際裁判の機能を訴訟法の観点から研究しています。かなり細かくてマニアックな研究をやっていますが、「神は細部に宿りたもう」らしいので、コツコツと勉強しています。岡山大学法学部は、若手の先生も多く、活気があってとても過ごしやすい環境です。これから、皆さんと勉強に遊びに一生懸命頑張りたいと思っていますので、どうかよろしくお願いします。

濱田 陽子（はまだ ようこ）准教授

この春に岡山大学へ参りました濱田です。民事手続法全般を担当します。

九州は長崎＝坂の街で生まれ育った私は自転車が苦手で、生まれてこのかた主として自分の足と公共交通機関を利用して生活してきました。今までこのスタイルを不思議に思ったことはなかったのですが、ここ岡山で道を歩いていると、車や自転車に乗った人たちから珍しそうに眺められるので、ちょっと驚いています。

新しいものには引込み思案の私ですが、「何事もよく見なさい」という母親（たしか夏休みに絵画の宿題をしてるときだった）の言葉と、「お前は問題に目を近づけすぎ。少し目を離して見たら解くカギが見つかる」という高校の担任の先生（数学の先生だった）の言葉を頼りに、徐々に岡山にも馴染むスペースを見つけていきたいと思っています。どこかで一人佇む姿があっても、それは決してサボっているわけではなく、周囲を無心に観察しているのだとご理解ください。

これからどうぞよろしくお願ひいたします。

○ パリ便り ～ソルボンヌからの風～ （第1回）

パリ大学は 13 もあるの？

憲法を担当している井上武史です。4 月からフランスのパリに在外研究に来ていますので、今回はこちらの大学を簡単に紹介してみたいと思います。

現在、国立のパリ大学は第 1 大学から第 13 大学までの全部で 13 あり、それぞれの大学は独立しています。各大学はおおむね 3~4 つの学部を設置しており、また同じ学部が複数の大学にまたがって存在することもあります。

番号で呼ばれる名前とは別に、すべての大学は所在の場所やゆかりのある人物にちなんだ固有の正式名称を持っています。たとえば、前者の例でいえば、われわれがよく耳にする「ソルボンヌ大学」とはソルボンヌ礼拝堂のある校舎を本拠とするパリ第 4 大学のことを指します。また後者の例では、パリ第 5 大学には「ルネ・デカルト大学」、パリ第 6 大学には「ピエール・マリー・キュリー大学」という名称があてられています。何れも理系の名門大学ですが、誰もが知っている名前を冠しているところが凄いですね。

私が在籍するパリ第 1 大学は、教室が先のソルボンヌ校舎とパンテオン校舎の二つに分かれているために、「パンテオン・ソルボンヌ大学」と呼ばれています。

同大学は、経済・経営学、人文学、法学・政治学の 3 つの専攻しかありませんが、学生数約 40000 人（そのうち留学生約 8000 人）、教員数約 2500 人を擁するマンモス大学であり、その規模は岡山大学を凌いでいます。13 ある各大学もだいたいこれと同じ規模のものであるため、パリには 50~60 万人の学生がいることになります。

各大学はパリ市内あるいはその周辺の郊外に点在していますが、第 1 大学は先の第 4 大学と同様、パリ中心部でセーヌ川左岸の「カルティエ・ラタン」という地区にあります。日本語に訳すと「ラテン地区」という意味で、これは中世のころ各地から集まった教員や学生たちがラテン語を共通言語としていたことに由来するようです。現在ではラテン語を話す学生はいないでしょうが、この地区は書店や古本屋はもちろん、学食やファストフード店が多く立ち並ぶ学生街であり、パリ市内でも活気のあるエリアとなっています。カフェで勉強や議論をする学生を多く見かけるのも、この地区の特色かもしれません。

○ 法学部からのお知らせ

☆岡山大学法学会講演会

今回の講演会は、長年、国連や化学兵器禁止機関で勤務された春具（はる えれ）氏をお招きし、これまでの国際公務員としての仕事を振り返って、貴重なご経験をお話し頂きます。ぜひお越しください。

日時：5月21日(金) 10時25分～

講師：春 具（はる えれ）氏（化学兵器禁止機関(OPCW)訓練人材開発部長）

演題：「国際公務員こぼれ話」

場所：岡山大学文学部・法学部・経済学部 10 番講義室

http://www.law.okayama-u.ac.jp/z_event/20100521.pdf

○ 最近の話題

☆岡山大学法学部のホームページをリニューアルしました。

今年度は、季節ごとにフラッシュでいろんな写真を入れ替えながら、法学部の動きをダイナミックに伝えていこうと思います。研究成果アーカイブ、教員近刊書など新しい欄も追加しましたので、ぜひご覧ください。

<http://www.law.okayama-u.ac.jp/>

☆岡山大学創立 60 周年記念論文集

岡山大学法学部創立 60 周年を記念して、記念論文集を公刊しました。法学部・法務研究科教員 17 名の論文を編んだものです。もしよければ、書店や図書館などで一度手に取っていただき、岡山大学法学部の研究の一端を知っていただければ幸いです。

<http://www.yuhikaku.co.jp/books/detail/9784641125421>

.....

- ・本メールマガジンは、岡山大学法学部に関する情報を提供する目的で毎月 2 回程度配信されています。
- ・岡山大学法学部の詳細情報に関しては、HP も併せてご覧ください。

岡山大学法学部 HP <http://www.law.okayama-u.ac.jp/>

- ・本メールマガジンには返信なさないようにお願いします。
- ・本メールマガジンの配信を希望しない場合やメールアドレスの変更を希望される場合には、以下の URL からご登録・解除ください。
<http://court.law.okayama-u.ac.jp/mail/register.html>
- ・ご意見・ご感想のある場合は、岡山大学法学部 情報委員会
joho@law.okayama-u.ac.jp までお願いいたします。

.....